

三小タイムズ

令和3年4月19日発行 校長 辻 久恵

全校朝会の話

皆さん、おはようございます。

最近のきらりを紹介します。

何といても「1年生を迎える会」でかわいい1年生を三小に迎えられたことです。

1年生の皆さんは、「いろいろおしえてください」「よろしくおねがいします」「三小だいすき」とはっきりとすることができましたね。よく頑張りました。

代表委員会の皆さんは、月曜日に委員会が発足して、水曜日が迎える会当日とすることで、準備期間が短いにもかかわらず、「司会」「はじめの言葉」「クイズ」「おわりの言葉」と役割を分担して温かな会で1年生を迎えることができました。ありがとうございました。

もう一つ、あいさつがとてもよくできました。廊下や階段で会うと皆さんの方から「おはようございます」「こんにちは」とあいさつしてくれます。それに交通安全のために横断歩道に立ってくださっていた地域の方々からも「三小の子どもたちはあいさつがよくできますね。」とお褒めの言葉をいただきました。「春の全国交通安全運動」は終わりましたが、これからも交通安全に気を付けていきましょう。もちろん、「進んであいさつ」も続けていきましょう。

さて、今日は「努力は人を裏切らない」というお話をします。

水泳の池江 璃花子選手は、難病を克服して実践復帰から8か月で、オリンピックの代表選考会を兼ねた日本選手権に出場し、出場した4種目全てで優勝し、四冠を達成しました。

インタビューの中で特に印象に残った部分があります。それは、「あの結果が出たのは偶然じゃなくて必然だと思っています。タイムが出るような練習をやってきた自信がありました。本当に頑張ってきたよかったです。」という言葉です。池江選手は素晴らしい結果を出して東京オリンピック出場の内定が決まりました。池江選手の言動から、まさしく「努力は人を裏切らない」にぴったりだと思いました。

ゴルフのマスターズ・トーナメントで初優勝した松山 英樹選手、スケートで活躍している羽生 結弦選手もoshiかりです。輝く結果に到達するためにけがを乗り越え、想像ができないくらいのとてつもない努力があったことと思います。

今日はスポーツ選手の話をしました。スポーツに限ったことではありません。「努力は人を裏切らない」は、学問をはじめどの分野にも通じていることと思います。

こんなに頑張っているのに結果が出ないと思うときもあるかもしれません。そんな時はこの言葉を思い出してください。「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならばそれは、まだ努力とは呼べない」これは、世界のホームラン王として有名な王 貞治さんの言葉です。めげずに報われるまで頑張らなさいということが、おっしゃりたかったのだと思います。

皆さんも「努力は人を裏切らない」をいつも心に留めて、目標に向かってコツコツと努力を続けてください。

今週もマスク着用、正しい手洗い、三密回避を守り、コロナに気を付けて頑張りましょう。